

学生は本当に 1 行ごとに改段落して文章を書いているのか

鈴木治郎*

szkjiro@shinshu-u.ac.jp

キーワード：メールの書き方，改行コード，CSS，マイクロソフト社

れる問題を，もう少し詳しく説明することを試みる．

1 はじめに

学生からのメールなどを受け取った教員が「1 行毎に改行し空行を入れてくるものがある」と口にする状況に何回も出会ってきた．多くの場合，そうしたメールを受け取った教員は「パラグラフとは何であるか」の問題と捉えて，学生の理解不足を前提に指導していると説明してくれる．

ところが，こうした指導を受けた学生は，実は（マイクロソフト社のワードも含めて）適当なエディタで下書きの準備をし，その文章をメールアプリケーションにコピー＆ペーストしただけかも知れない．

例えば，メールは適当な文字数で意図的に改行するよう指導を受けているからエディタ上でもそのように書いた．ところが，それをペーストしてみると，元の改行ごとに空行まで挿入されるのを目にするのである．その学生はめんどろであるとしても，ペースト後に生じた空行を手作業で削除し，その後にメール送信しているという相談を，私は何度も受けている．

だから余分な空行を入れて注意を受けた学生たちは本当に空行を挿入しながら書いているのだろうか，その理由を検討すべきである．学生の中にはそうした習慣の者もいるだろう．例えばタレントのブログには過剰な空行をはさんで書かれているものも多くあるから，それを参考に真似しようと意識するなどである．

以下では，上にあげたペースト後に空行が挿入さ

2 改行コードの問題

テキストファイルの改行コードは，主要 OS において以下の通りであり，よく知られた事実である．

OS	改行コード
Linux	LF
MacOS	CR
Windows	CR+LF

特定のワープロフォーマットなどでないプレーンのテキストファイルがインターネット上で直接にやりとりされるとき，これらの改行コードは受信先において適切なものに自動で変換されている．

2.1 HTML の流儀

ウェブページを記述する言語 HTML を含めて，マークアップ言語ではテキストエディタ上の改行ただそれだけでは，ウェブページをタイプセットする際に改行とは解釈しない．明示的に改行タグ（<p>...</p>や
など）で指示する，または空行を挿入することで改段落に解釈する．

2.2 マイクロソフトオフィスの仕様

マイクロソフトのオフィススイートでは改行コードは改段落となっている [1]．この改行の扱いに関す

* 信州大学全学教育機構

る仕様は、多くの書式設定を段落単位で定義し、段落内の改行に限り改段落でない改行とすることで独自の書式制御を実現している。

例えば表に見せている書式設定は、ワードの内部処理では段落を並べたものに過ぎないために、表において横方向の整列を試みることは困難であることを筆者は以前に指摘している [2]。

2.3 ウェブメール

ウェブメールは、ブラウザ上のみでメール送受信などの利用ができるアプリケーションである。ブラウザ上で表示のすべてをしているのだから、その書式上の仕組みは HTML と CSS の組み合わせにより実現されている。マイクロソフト社のアプリケーションのみの世界であれば、改行ならぬ改段落をすべて段落タグ<p>...</p>で処理することは自然であろう。ところが私たちは、パソコンを遥かに超えるスマートフォンの普及した世界で暮らしている。ウィンドウズ上でのプレーンテキストをこの世界に流すための仕組みを再考する時代に入っているのである。

3 結論

改行を改段落として扱う仕様は、マイクロソフト社のオフィススイートに限らずウィンドウズ上の同社のアプリケーションであらば同じである。それらの環境のもとで、現代の標準的メール環境となったウェブメールを同社の標準ブラウザ Edge (以前の版のウィンドウズ標準ブラウザ Internet Explorer であっても) が HTML として改段落を単なる改行と解釈するように、HTML の表示を制御する CSS

ファイルを通じて実現しているように思える。

一方で筆者の大学で利用しているラーニングプラットフォームの moodle でもそうだが、マイクロソフト社のブラウザ Edge のもとでは正常な表示に支障をきたしているものが少なくない。こうした事情が、メールをウェブメールで出す際に、学生が自身のパソコン等で下書きし準備したものをコピー & ペーストする際に、改行を改段落に表示する問題につながっていると考えられる。

余分な改行をはさんだメールを出す学生の何割かは、けっしてパラグラフライティングの理解に問題があるわけではないと考えてよい。本稿で触れてきた表示の問題を解決できるよう CSS を独自にカスタマイズできるウェブメール環境は、ウィンドウズ初心者が使うような環境には見られない。

したがって現在のパソコン OS の状況でとるべきウェブメール利用の対策は次の 2 つである。

1. ウィンドウズは使わない
2. ウィンドウズを使うのであれば、上に述べた余分な改段落問題を生じないエディタとブラウザの組み合わせを、自身のパソコンや授業用端末室の環境で見つけ、それを利用する。

参考文献

- [1] 例 えば「ウィンドウズ FAQ」
<http://www.nbcom.co.jp/PC-Support/FAQ/doc/ht/doc082002ht002.shtml>
- [2] 鈴木治郎, 『MS Word の内部書式とセマンティック Web について』, コンピュータ利用技術研究学会第 4 回講演集, 2009 年